

2012年（平成24年）9月24日

三菱マテリアル株式会社
住友大阪セメント株式会社

三菱マテリアルと住友大阪セメントが石灰石鉱山共同事業を開始

三菱マテリアル株式会社（社長：矢尾 宏、本社：東京都千代田区）と住友大阪セメント株式会社（社長：関根福一、本社：東京都千代田区）は、福岡県北九州市内で隣接して操業している石灰石鉱山に関し、住友大阪セメント鉱区内で未着手となっている鉱区の一部を2005年に共同開発することで合意し、これまで開発工事を進めてまいりました。

このたび、約6年に及ぶ工事が完成し、新区域から採掘した石灰石を三菱マテリアル九州工場（苅田地区）及び住友大阪セメントの赤穂工場等に供給する共同事業を開始いたしましたので、お知らせいたします。

1. 工事の概要

三菱マテリアルと住友大阪セメントが北九州市で隣接して操業する石灰石鉱山（東谷鉱山と小倉鉱山）のうち、住友大阪セメントが所有する鉱区で未着手となっている区域のうち一定の範囲（以下 新採掘区域）における採掘を可能とする工事を実施いたしました。

具体的には、住友大阪セメントが新採掘区域の剥土を行い立坑および破碎送鉱設備を新設するとともに、三菱マテリアルがこれを連結するベルトコンベアを新設の上、既存二次破碎設備と接続し、長距離ベルトコンベアとなる平苅輸送路を増強いたしました。さらに、三菱マテリアル九州工場（苅田地区）には専用石灰石サイロや船積み設備も新設して住友大阪セメントの石灰石専用輸送船に積み込む体制を整備いたしました。

2. 新採掘区域の操業体制

新採掘区域（小倉鉱山）の採掘作業は、住友大阪セメントが、小倉鉱山を採掘中の同社子会社である小倉鉱業株式会社（代表取締役：小野 浩、本社：福岡県北九州市小倉南区）と、三菱マテリアルに委託して行います。また、坑内設備（東谷鉱山）の運転は、三菱マテリアルが同社の坑内設備と併せて行います。

3. 共同事業による両社のメリット

三菱マテリアルは、自社の既存鉱区の石灰石採掘に加え、新採掘区域からも供給を受けることにより、自社九州工場向けの石灰石を長期にわたって安定的に確保することが可能となりました。

一方、住友大阪セメントは従来から行ってきた小倉鉱業との石灰石販売事業を継続して行うとともに、三菱マテリアルへ破碎輸送業務を委託することで、三菱マテリアル

九州工場（苅田地区）棧橋から自社工場（赤穂、高知）向けのセメント原料用石灰石の供給が可能となりました。

また、東谷鉱山と小倉鉱山の隣接部分に各々の単独採掘では取り残される石灰石資源（約3億トン）の採掘も可能となりました。

2012年度は、新採掘区域から約170万tの採掘を計画し、このうち約120万tを三菱マテリアルに、約50万tを住友大阪セメントに供給する予定です。

三菱マテリアルと住友大阪セメントは、今回の共同事業より石灰石資源の更なる有効利用を図るべく、今後も安全を最優先にした上で安定操業を目指してまいります。

《積込設備とサイロの写真》



《石灰石専用積込設備の写真》



《両鉱山の現況》

- 三菱マテリア : 同社九州工場（苅田地区）の南西に位置し、自社セメント工場向け原料、
ル・東谷鉱山 : その他石灰石製品用として年間約 1,000 万トンの石灰石を採掘
住友大阪セメン : 東谷鉱山の北側に位置し、近隣セメント工場向け原料、コンクリート骨
ト・小倉鉱山 : 材用等として年間約 60 万トンの石灰石を採掘



【本件に関する問い合わせ先】

三菱マテリアル株式会社 広報・IR部 TEL：03-5252-5206

住友大阪セメント株式会社 総務部IR広報グループ TEL：03-5211-4505

以 上